

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-73616

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)6月29日

F 16 C 19/00
B 60 T 8/00A 6826-3 J
7615-3 H

審査請求 未請求 請求項の数 4 (全3頁)

⑮ 考案の名称 車軸用軸受装置

⑯ 実 願 平2-116867

⑰ 出 願 平2(1990)11月6日

⑱ 考 案 者 中 山 勝 彦 大阪府大阪市中心区南船場3丁目5番8号 光洋精工株式会社内

⑲ 出 願 人 光洋精工株式会社 大阪府大阪市中心区南船場3丁目5番8号

⑳ 代 理 人 弁理士 青 山 森 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 外周面の軸方向の略中間部に取付けフランジを有すると共に、軸方向の略中間部に半径方向に貫通した段付孔を有する外輪と、
車軸に貫通され、外周面の軸方向の略中間部にバルサリングを取付けた内輪と、

上記外輪と内輪との間に配置された転動体と、

上記外輪の段付孔に挿入された検出部と、この検出部に連なつて上記外輪の外面に固定される取付けブラケットとを有し、上記検出部は上記バルサリングに対向する先部と、この先部より大径で取付けブラケットに連なる中間部とからなり、上記取付けブラケットの車体の軸受取付部側の端面は上記中間部のセンターライン付近に位置している回転センサーとを備えたことを特徴とする車軸用軸受装置。

- (2) 請求項(1)の車軸用軸受装置において、上記回転センサーの検出部の先部と中間部を同軸に配置したことを特徴とする車軸用軸受装置。

- (3) 請求項(1)の車軸用軸受装置において、上記回転センサーの検出部の先部のセンターラインに対して、中間部のセンターラインを上記取付けブラケットの存する側にオフセットしたことを

特徴とする車軸用軸受装置。

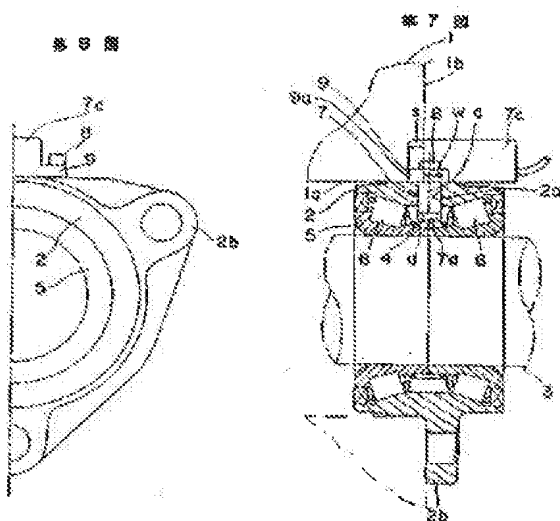
- (4) 請求項(1)乃至(3)のいずれかに記載の車軸用軸受装置において、上記回転センサーの中間部の上面で、かつ取付けブラケットに連ならない側に凹段部を形成したことを特徴とする車軸用軸受装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案にかかる第1実施例の車軸用軸受装置の側面断面図、第2図は第1図の正面図、第3図は第1図の要部拡大図、第4図は第2実施例の車軸用軸受装置の側面断面図、第5図は第4図の正面図、第6図は第3実施例の車軸用軸受装置の側面断面図、第7図は従来の車軸用軸受装置の側面断面図、第8図は第7図の正面図である。

10、30……ホイール用バブユニット軸受、
11……内輪、12……外輪、12a……段付孔、
13……ローラ(転動体)、16……車軸、
17……軸受取付部、17a……嵌合穴、17b……端面、
18……バルサリング、19……回転センサー、
19a……検出部、19b……先部、19c……中間部、
21……取付けブラケット、21a……端面、
c1、c2……センターライン。

案關 平4-78816(3)



実開 平4-79616(2)

